

第4回伝統文化大賞

あまわり浪漫の会

沖縄県うるま市

Amawari Roman Association



あまわり浪漫の会は、沖縄県うるま市の中高校生が参加する舞台現代版組踊「肝高の阿麻和利」を支援することを主な目的に2001年7月に結成された。舞台づくりを通して、子ども達の感動体験、居場所づくり、ふるさと再発見・子どもと大人が参画する地域おこしを行うことを理念としている。

活動は、勝連城10代目城主「阿麻和利」をテーマにした演劇に子ども達が取り組むことで、感動体験の場をつくり、ふるさと再発見、子どもと大人が共同参画による町づくりを目的としており、1999年に旧勝連町教育委員会が国の補助事業を受託して取り組んできたことに始まる。翌年3月に「勝連城跡」での野外公演で初上演された。

2001年5月には、町立公共文化施設「きむたかホール」の完成に伴い、野外公演から会館ホールでの公演に移行。2002年からは、行政の予算削減に伴い、本会が自主公演を主催・企画運営する体制へと移行した。活動継続に向け紆余曲折もあったが、2014年で15年目を迎えた。この間、公演回数は通算243回、観客動員数は延べ14.8万人にのぼり、参加する子ども達の人数は、当初の2倍以上の200名となっている。

舞台は沖縄の伝統芸能である「組踊」をベースに、現代的な音楽やダンスを取り入れた構成になっており、中学1年生から高校3年生までが在籍している。この活動が始まるまでの子ども達は、自分の生まれ育ったマチに誇りを持たず、勝連城最後の城主「阿麻和利」に対しても地元の“英雄”として、胸を張って誇ることも出来なかった。

しかし、この舞台活動を継続することで、今では「勝連城跡」や「阿麻和利」は地元の誇りであり子ども達の憧れとなっている。そして、中高生が学校の枠を越えて集い、一つのものを作り上げていく過程で、互いを認め合い、助け合いながら成長していく姿に周りの大人や地域も変わってきた。いまでは舞台活動を通して、子ども達は地元を再発見し、生まれたマチの素晴らしさを学び、それを一所懸命舞台上で表現し発信している。

さらに、県内外や海外から訪れる同世代の子ども達との交流を通して、地域に対する思いの深さや人とのつながりの大切さ、足元を見つめつつ視野を世界に広げることを学んでいる。近年では、舞台鑑賞のためにわざわざ県外からうるま市を訪れる観劇人口が増えており、地域活性化にもつながっている。



The Amawari Roman Association (literally "The Dream of Amawari" Association) supports an annual theatrical production *Kimutaka no Amawari*, put on by more than 150 junior and senior high school students from Uruma City. By relating the local legend of Lord Amawari who ruled Katsuren Castle in the 15th century, this helps build pride among youth in their local heritage and culture, something that is especially important in a rural area where many young adults have been leaving due to limited opportunities. The theatrical program originally started in 1999 as a local government initiative and, later, it grew into a major community project in which students take leadership roles with the support of their parents and other local residents. In 2001, the Amawari Roman Association was created by parents and other community members to support planning and operation of the student theater production.

The production is based on a traditional Okinawan theater style called *kumiodori*, but with the addition of contemporary music and dance. Its high-quality performances attract large crowds from within and outside of the prefecture. The students also have performed nationally through Japan as well as internationally, including a special performance in Hawaii. Through the experience of taking part in the planning and performance of the *Kimutaka no Amawari* production the students become proud of their cultural heritage, develop connections to their own community, and nurture confidence and self-esteem.





勇気づけられた活動評価

あまわり浪漫の会
長谷川 清博

あまわり浪漫の会は、2011年にティファニー財団賞伝統文化大賞を受賞させて頂きました。授賞式での選考委員の先生方から述べられた受賞ポイントには、たいへん勇気づけられました。

「中高校生が、地元の伝承を演劇として復活させ、地域を勇気づけつつ振興に成功したユニークな活動。」「それを代々受け継ぎ高いレベルで次世代に維持し継承している。」「中高校生が舞台活動を通して“人づくり”を実践している。」「地域の新しいアイデンティティーを創造する力となり得ていることや地域に誇りと自信を取り戻すほどの力を発揮し得ている。」「そこに、学校教育とは異なる意味と価値を発見できる。」等それぞれのコメントが活動を継続する自信となっています。

今では、地域のコンテンツとして、本活動が県内外にも認知されるまでになり、同じ理念で活動を共にする団体が各地に増えてきました。受賞から年月が過ぎていることを受賞時に頂いたトロフィーがいぶし銀色へと変わったことで物語っていますが、本会は、これからも輝き続けていける団体として、肝高（キムタカ：志が高い）をキーワードに地域を誇りに思える心、志高く自己肯定できる“人づくり”に取り組んでいきます。

